

自動詞と他動詞について

英語の動詞には大きく分けて“be動詞”と“一般動詞”の2種類があります。

“be動詞とは“am/is/are”の3つだけ、それ以外は全て一般動詞と呼ばれる動詞ですが、この一般動詞は自動詞、他動詞、自動詞と他動詞両方の意味を持つ動詞の3つに分類されます。この3つの動詞の使い方について説明します。

他動詞とは、二つのモノ、つまり、『働きかけるモノ(主語)とそれによって影響を及ぼされるモノ(目的語)の動きを表す動詞』です。言い換えると、他動詞は『影響を及ぼされるモノ(目的語)を必要とする動詞』です。主語が他のモノに働きかけて影響を及ぼすので他動詞と呼ばれます。

他動詞の意味しか持たない動詞として、例えば enjoy:～を楽しむ/ find:～を見つける/ discuss:～を議論する…などがあります。

この他動詞は、目的語なしでは意味が分かりづらい『影響を及ぼされるモノ(目的語)を必要とする動詞』ですからその直後に目的語を置きます。*前置詞は挟みません!!!

例1) I **enjoyed a picnic** with my friends last weekend. 先週末友人達とピクニックを楽しみました。

例2) We need to **discuss this issue**. 私達はこの問題について議論する必要がある。

例3) I **found a wallet** in the room. 私はその部屋で財布を見つけた。

自動詞とは『自分(主語)だけで完結する行動』あるいは『自分(主語)だけで意味が成り立つ行動』を表現する動詞です。自動詞の意味しか持たない動詞として、例えば go:行く/ work:働く/ arrive:着く/ come:来る /swim:泳ぐ…などがあります。これらは目的語「～を」に当たる言葉を伴わない意味の動詞ですから他動詞のように直後に目的語を置くことはありません。その文章の内容によって適切な前置詞を直後に置きます。例えば・・・

例4) My boss **came in the meeting room**. 上司が会議室に入ってきた。

例5) Mr. Johnson will **come to Tokyo** next week. ジョンソンさんが来週東京に来ます。

例6) I have been **working for this company** since 2012. 私は2012年からこの会社で働いています。

この他にも自動詞の意味しか持たない動詞としてビジネスに頻繁に出てくる言葉に “consist of ～: ～から成る/～で構成されている” や “participate in ～: ～に参加/出席する” があります。これらは異なった前置詞を伴う事はないので、それぞれの前置詞とセットで、あたかも『セットで単語』として使い方を覚えるのがいいと思います。

例7) The team **consists of five capable engineers**. そのチームは5人の有能な技術者で構成されている。

例8) I can **participate in the meeting** next week. 私は来週のミーティングには参加出来ます。

自動詞の意味しか持たない動詞は少ないのでこれをしっかり覚えて必ず前置詞を伴って使い方を覚えることを心掛けるのがいいでしょう。

自動詞と他動詞両方の意味を持つ動詞として頻繁に会話に登場する動詞

実は非常に多くの動詞が、自動詞と他動詞両方の意味を持っています。例えば身近な単語で “change” がそうです。

他動詞「変える」： 他のモノ(目的語)に影響を与える行動を意味する

自動詞「変わる」： 自分(主語)だけで完結する行動を意味する

例えば “I changed.” だけでも「私は変わった」 - と意味が成り立ちます
よね。もし他動詞なら「私は変えた」となり何を変えたのか分からない
ないので完結した文章とは言えません。

例9) I will **change the color** to red soon. 私は間もなく**その色**を赤に**変える**だろう。 - 他動詞のchange
この”change”(他動詞) は他のモノ(目的語)を変える - の意味なので目的語”the color”
を”change”の直後に置き文意を完成させます。

例10) The color will **change to** red. その色は赤に**変わる**だろう。 - 自動詞のchange
この”change”(自動詞) は自らが変わる - の意味なので目的語は存在しません。
前置詞”to ~”を伴い「～に変わる」の文意を完成させます。

もう一例紹介します … その動詞は ”lead” です。 ”lead”は自動詞で使う時と他動詞の時では意味が
少し異なります。

他動詞の意味は「～を率いる/先導する」 - 他のモノ(目的語)に影響を与える。

自動詞の意味は「繋がる/通じる」 - 自分(主語)だけで完結する行動。

例11) He **leads the team** to great results. 彼は**チーム**を素晴らしい結果に**率いている**。
この”lead”(他動詞) は他のモノ(目的語)を率いる - の意味なので目的語”the team”を
直後に置いて文意を完成させます。

例12) The small effort will **lead to success** later. その小さな努力が後で**成功に繋がる**だろう。 - 自動詞

例13) This trail **leads to the beach**. この小道は**その海岸に通じています**。 - 自動詞
この”lead”(自動詞) は自らが繋がる/通じる - の意味なので目的語は存在しません。
前置詞”to”を伴い文意を完成させます。
なので、自動詞”lead”は”to”も含めて “lead to ~”で「～に繋がる/通じる」と覚え
ておくことをお勧めします。

最後に、他動詞を使った文章しか受動態に出来ない事について説明します。

他動詞は、『働きかけるモノ(主語)とそれによって影響を及ぼされるモノ(目的語)の動きを表す動
詞』でしたね。下記の手動詞を使った例文のように主語側に焦点を当てて作った文章-例14)を能動
態、目的語側に焦点を当てた文章-例15)を受動態と呼びます。

能動態：例14) We successfully solved the issue. 私達は首尾よくその問題を解決した。

受動態：例15) The issue was successfully solved by us. その問題は我々によって首尾よく解決された。

次に自動詞を使った文章を考えてみましょう。

例16) I went to New York last week. 私は先週ニューヨークへ行った。

例17) My dog died yesterday. 私の犬は昨日死んでしまいました。

自動詞とは『自分(主語)だけで完結する行動』あるいは『自分(主語)だけで意味が成り立つ行動』を
表現する動詞ですからそもそも目的語が存在しません。従って、目的語側に焦点を当てた文章は作
りようがないのです。

=以上です=